千葉県南房総市

史跡里見氏城跡岡本城跡

保 存 活 用 計 画 書

令和元年 12 月

南 房 総 市 教 育 委 員 会

千葉県南房総市　史跡里見氏城跡岡本城跡　保存活用計画書

南房総市教育委員会

千葉県南房総市

史跡里見氏城跡岡本城跡
保 存 活 用 計 画 書

令和元年 12 月

南 房 総 市 教 育 委 員 会

序　文

南房総市は、房総半島南部に位置する面積 230.12 ㎢、人口約 3.8 万人の市です。市域の北側には県下最高峰の愛宕山（標高 408m）をはじめ、御殿山（標高 364m）、富山（標高 349m）そして伊予ヶ岳（標高 336m）などの緑濃い山々が連なり、他の三方は東京湾と太平洋に面しています。

里見氏城跡岡本城跡は、房総半島南部における中世山城の構造上の特徴が残されていることなどから、平成 24 年に館山市の稲村城跡と共に里見氏城跡として国の史跡に指定されました。この史跡を長期にわたって適切に保存・活用していくため、平成 26 年度から学識経験者や地元市民代表で構成された保存管理計画策定委員会を設置し、貴重な御意見と御指導をいただきながら、本計画書を刊行するに至りました。本計画は、史跡を適切に保存し、多くの方々にその価値を周知していくために実施する整備事業の方針を定めたものです。

今後は本計画に基づき、土地所有者の方々の御理解と御協力をいただきながら、また市民の皆様との協働により保存整備事業を行って参りたいと存じます。

結びに、本計画の策定にあたり関係各位に多大な御協力をいただきましたことを、ここに記して深く感謝申し上げます。

令和元年 12 月

南房総市教育委員会
教育長　三　幣　　貞　夫

例　言

1　本書は、千葉県南房総市（みなみぼうそうし）富浦町（とみうらちょう）豊岡（とよおか）・原岡（はらおか）に所在する「国指定史跡　里見氏城跡　岡本城跡」の保存活用計画書である。

2　本保存活用計画書は、平成26年度に設置した史跡里見氏城跡岡本城跡保存管理計画策定委員会（椙山林繼委員長）における6か年の審議をまとめ、南房総市教育委員会が編集・発行するものである。

3　本事業の事務は、南房総市教育委員会生涯学習課社会教育係が担当した。

4　本事業の実施及び本計画の策定にあたっては、文化庁文化財第二課、千葉県教育庁教育振興部文化財課、そして館山市より指導・助言をいただいた。また多くの関係各位に御指導並びに御協力をいただいた。ここに記して謝意を表する。

凡　例

1　本書で使用している機関・団体名及び組織名については、令和元年度現在のものである。

2　本書に掲載した図版のスケール・方位・凡例は必要に応じて各図に示した。

史跡里見氏城跡岡本城跡保存活用計画書　目　次

第１章　計画策定の目的・沿革…………………………………………………………………… 1
第１節　計画策定の目的
第２節　計画策定の沿革
第３節　委員会の設置・経緯
第４節　計画・他の法令等との関係
第５節　計画の実施

第２章　史跡等の概要……………………………………………………………………………… 8
第１節　史跡里見氏城跡岡本城跡の概要
第２節　指定に至る経緯
第３節　指定の状況
第４節　史跡周辺の調査成果

第３章　史跡の本質的価値……………………………………………………………………30
第１節　史跡の本質的価値
第２節　既調査成果
第３節　史跡を構成する諸要素

第４章　史跡の現状・課題……………………………………………………………………60
第１節　保存管理の現状・課題
第２節　活用の現状・課題
第３節　整備の現状・課題
第４節　運営・体制の現状・課題

第５章　大綱・基本方針………………………………………………………………………65
第１節　大綱
第２節　基本方針

第６章　史跡の保存管理………………………………………………………………………66
第１節　保存管理の方向性
第２節　保存管理の方法

第７章　史跡の活用……………………………………………………………………………75
第１節　活用の方向性
第２節　活用の方法

第８章　史跡の整備……………………………………………………………………………81
第１節　整備の方向性
第２節　整備の方法
第３節　整備の方針

第９章　史跡の運営・体制……………………………………………………………………86
第１節　運営・体制の方向性
第２節　運営・体制の方法

第１０章　施策の実施計画の策定・実施……………………………………………………………88
　第１節　計画期間
　第２節　実施すべき施策
　第３節　保存活用計画の見直し

第１１章　経過観察…………………………………………………………………………………90